



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2016年(平成28年)10月5日号 No.1706

目次

■ ロシアの食品禁輸と輸入代替の動向	服部 倫卓 1
■ 統計速報	11
2016年1～8月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／11	
2016年1～8月の日ロ貿易／12	
■ モスクワほっとニュース	14
モスクワで日本風クレープ屋オープン／14	
■ エトセトラ	15
「第6回日本カザフスタン経済官民合同協議会」開催のご案内／15	
CEEDSメンテナンスのお知らせ／15	
■ キーパーソン	15
ナルィシキン元下院議長、対外諜報庁長官就任／15	
■ トピックス	16
日本・モンゴル外相会談／16	
SBエナジー、モンゴルに風力発電所建設へ／16	
キルギス行政関係者、ヨコレイ物流センター視察／16	
MRJがロシア・カムチャッカ経由で米国到着／17	
ロシア沿海地方労組、石川県庁訪問／17	

ロシアの食品禁輸と輸入代替の動向

ロシアNIS経済研究所 調査部長

服部 倫卓

はじめに

ウクライナ危機を背景に、ロシアが欧米産農産物・食品の一部に対する輸入禁止措置を導入してから、約2年が経過した。禁輸措置は、欧米の生産者に小さからぬ打撃を与える一方、ロシア市場に構造的な変化をもたらしている。とりわけ、畜産・酪農品を中心に、ロシアの生産者による輸入代替生産が急ピッチで進んでいる。今日のロシアでは、あらゆる産業分野で輸入代替の課題が叫ばれているが、おそらく最も顕著な成果が挙げられているのが、畜産・酪農品を中心とした食品分野だろう。

禁輸導入から2年が経過して、その影響が統計数値にも明瞭に表れつつある。また、ロシア政府付属分析センターが2016年4月、「食品禁輸：2015年の総括」と題する報告書を発表した。そこで今回の速報では、ロシアの欧米産食品禁輸政策の経緯と事実関係を改めて整理するとともに、ロシア連邦国家統計局およびロシア連邦関税局発表の統計資料、前掲の「食品禁輸：2015年の総括」をもとに、ロシアの食品貿易のパフォーマンスを図表にまとめ、食品禁輸と輸入代替の動向を概観する。